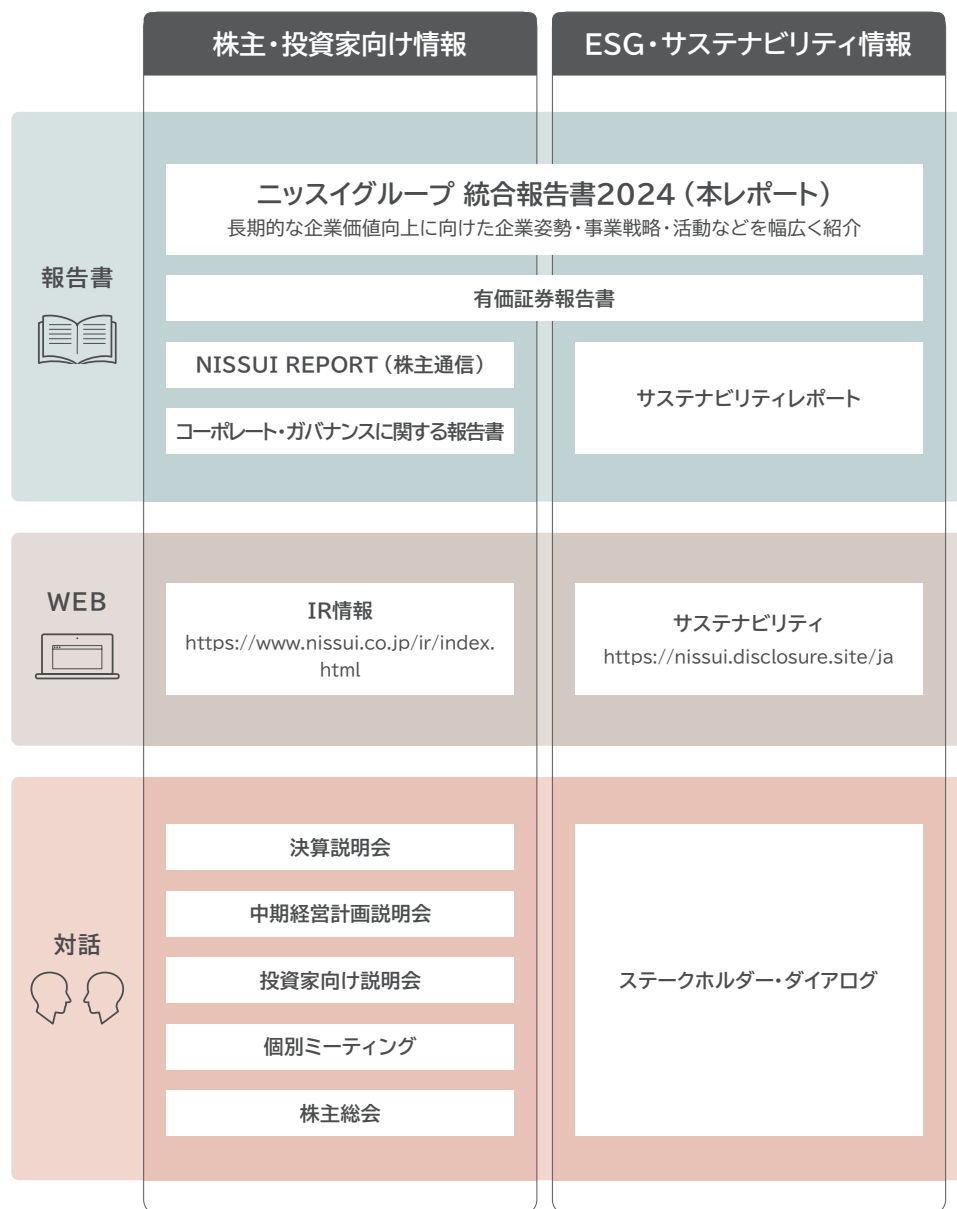


## コミュニケーションの全体像



### 編集方針

株式会社ニッセイは、主に株主・投資家向けのコミュニケーションツールとして、統合報告書を発行しています。本レポートでは、当社グループの長期ビジョンや、戦略・業績などについて、ESG・サステナビリティ情報と連携し、企業価値向上のストーリーをお伝えしています。当社では、本レポート以外にもさまざまな媒体で情報を開示していますので、より理解を深めていただくためにご活用ください。

#### > 報告対象期間

2023年4月1日～2024年3月31日の活動を中心に掲載しています。ただし、過去の経緯やデータ、最近の事例を示すことが適当である場合は、この期間以外のものを報告しています。

#### > 報告対象組織

株式会社ニッセイおよび国内外のグループ会社を対象としています。

#### > 参考としたガイドライン

- IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
  - GRI (Global Reporting Initiative) スタンダード
  - TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言
  - TNFD (自然関連財務情報開示タスクフォース) 提言
  - 経済産業省「価値協創ガイダンス」
- 発行：2024年10月

### 将来見通しに関する注意事項

本レポートに記載されている業績の見通しなどの将来に関する記述は、当社が制作時点で入手している情報および合理的であると判断している一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

#### 表紙への想い

調達した水産資源をさまざまな形に変え、世界中のお客さまの食と健康に貢献するニッセイ独自のバリューチェーンを描きました。資源の循環をなぞらえた∞(無限)マークには、サステナブルな社会の実現への想いを込めています。これらをブランドシンボルの形状をモチーフにしたコネクティングフレームと組み合わせ、ニッセイグループのありたい姿を表現しました。

## 目次

ニッスイグループの ありたい姿	3	ニッスイの志
	5	経営理念体系
	7	ニッスイグループの価値創造の歴史
	9	ニッスイグループの価値創造プロセス
	10	ニッスイグループの強み「バリューチェーン」
	11	At a Glance
	13	社長メッセージ
	19	リスク・機会を価値創造につなげるガバナンス
	20	ニッスイグループのマテリアリティ
	21	マテリアリティの特定プロセス
22	リスクマネジメント体制の再構築	
24	マテリアリティ推進体制と具体的な取り組み	
中長期の成長戦略	33	CFOメッセージ
	37	長期ビジョン「Good Foods 2030」
	39	収益性向上の取り組み
	40	3つの成長ドライバー
	47	中期経営計画「Good Foods Recipe1」
	49	事業戦略
55	投資家エンゲージメント	
ガバナンス	59	役員一覧
	60	コーポレート・ガバナンス
	65	社外取締役対談
データセクション	69	財務指標の推移
	70	連結財務諸表
	72	サステナビリティデータ
	73	株式情報
	74	会社情報
	75	グローバルネットワーク

### ニッスイグループ 統合報告書2024の見どころ

ニッスイグループは、2030年のありたい姿を「人にも地球にもやさしい食を世界にお届けするリーディングカンパニー」とし、その実現と持続可能な成長を追求しています。本レポートでは、持続可能な未来への取り組みを紹介し、当社グループの成長戦略とビジョンをお伝えします。

#### 独自のバリューチェーン

ニッスイグループは、魚を「獲る・育てる」だけでなく、研究開発・加工・保管・流通の機能を有しています。調達した水産資源を余すことなく活用し、さまざまな形に変えて世界のあらゆる世代のお客さまに価値を提供しています。

#### POINT 1

ニッスイグループの強み「バリューチェーン」 ▶ p.10

海外成長の加速（白身魚バリューチェーンの強化） ▶ p.41

#### 経済価値につながる取り組みの強化

マテリアリティやリスクマネジメント体制を見直し、さまざまなリスク・機会への対応力を強化しています。非財務の取り組みを事業に連動させ、経済価値につなげていくための取り組みを紹介します。

#### POINT 2

リスク・機会を価値創造につなげるガバナンス ▶ p.19

ニッスイグループのマテリアリティ ▶ p.20

#### ステークホルダーとの対話を深化させるための 情報開示の充実

経営の透明性を高め、経営方針や戦略に対する理解を深めていただくため、投資家エンゲージメントや社外取締役対談を行いました。

#### POINT 3

投資家エンゲージメント ▶ p.55

社外取締役対談 ▶ p.65